

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)	◎	－	－	－
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・高額品の購入が増え、来客数も少しずつ増えてきている。とはいえ売上は前年よりは良いが、新型コロナウイルス発生前の50%未満である。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大で、来客数に変化はないが、肉食需要の高まりから購入点数が増えている。また、値上げ前の駆け込み需要もみられる。
	○	スーパー（統括）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、肉食需要が高まっている。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・コロナ慣れといった感じの集客状況である。仕事が休みの人が多い週末は、客の動きが大きくなっている。新型コロナウイルス発生前と比較はできないが、前年売上で8%程度良くなっており、最近はコロナ禍にあっても来客数がかなり改善してきたと感じている。ただし、前年は大雪で道路状況が最悪だったこともあるので、前年と比べて良いことを手放しに喜んでは危険である。
	○	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・学生の合格発表に合わせて、新規の端末契約数が増加している。
	○	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・キャンペーンやWebからの問合せが増えており、相談件数も増加している。受注高も計画を達成している。
	□	一般小売店〔事務用品〕（店長）	単価の動き	・購入点数は多くなっているが、単価が低い。必要な物だけ購入しているため、ついで買いが少ない。
	□	スーパー（総務担当）	単価の動き	・商品価格が上がり、以前にも増して特売商品のみを買う客が多い。
	□	スーパー（仕入担当）	販売量の動き	・商品の値上げが相次ぎ、買上点数の減少が顕著になっている。客は、競合のディスカウント店と使い分けしているようである。特売をしても買上点数が上がらない。
	□	スーパー（店舗管理）	販売量の動き	・来客数は減少傾向で、コロナ慣れの影響もあり、まとめ買い等の特需は全く見受けられない。また、値上げも目立ち、販売点数の動向から節約意識の一層の高まりを感じている。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客単価が変わらない。
	□	家電量販店（店長）	販売量の動き	・北京オリンピック開催による映像商品の動きに期待したが、特に販売量などは変わっていない。
	□	家電量販店（本部）	来客数の動き	・来客数の落ち込みが大きい。それに伴って売上も落ちている。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・公共施設で今年もイベントを開催したが、販売量も来場者数も前年よりやや少なくなっている。
	□	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・前月同様に受注は堅調だが、自動車の生産遅れによる納期の長期化により、今期決算には収益を反映できない見通しとなっている。
	□	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・2月28日でGo To Eatキャンペーンが終了する。当店が取引している店は、Go To Eatキャンペーンによって多少は売上が増加しているようだが、当店の売上は相変わらず低迷している。
	□	通信会社（職員）	販売量の動き	・広告宣伝費をいつも以上にかけても、新商品の売行きが伸びない。
	□	通信会社（役員）	販売量の動き	・CATV、インターネット、固定電話、スマートフォンなど当社事業における新規契約数については、3か月前と比較して横ばいであり、景気変動の兆候は見受けられない。
	□	パチンコ店（経理）	販売量の動き	・大きな変化はない。
	□	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が延長され、観光や飲食も落ち込み、人の動きが減っている。

□	住宅販売会社 (営業)	来客数の動き	・4月からの更なる資材値上げを客が認識し始めており、景気が上向き気配はない。現状は横ばいが続いており、急激に大きく動く気配はまだ感じられない。
▲	商店街(代表者)	来客数の動き	・月初めは来客数に動きが出ていたが、中旬から急激に下降線をたどっている。新型コロナウイルスの感染状況に加え、雪が長々と続き、全く良いところがない。新型コロナウイルスによる自宅待機、雪による移動手段不足など、我慢の時期が続いている。人出は惨たんたる状況である。
▲	一般小売店〔精肉〕(店長)	販売量の動き	・全体をみると豚肉やとり肉の動きは良いが、ギフト等が少ないこともあり、牛肉の動きが良くないため苦戦している。
▲	一般小売店〔書籍〕(従業員)	販売量の動き	・値上がりしているものが多く、客の動きに買い控えがみられる。
▲	百貨店(販売促進担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、高齢者を中心とした客の来店が減って売上に大きく影響している。依然としてアパレルの動きが悪く、春に向けて入学式や卒業式などのセレモニー関連で非常に影響が大きい。旅行需要も2年連続で見通せず、アパレルや旅行かばんなどの雑貨に影響が出ている。
▲	百貨店(販売担当)	来客数の動き	・1月下旬からの新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、来客数が減少している。さらに、目的とする商品のみを購入し、短時間で帰宅する傾向がより拡大している。午前中から日中の来客数は以前と比べて大きく減少した感じはなく、ランチタイムのレストランも週末を中心に大幅な減少はみられない。しかし、夕方以降の来客数は減少しており、食品以外は苦戦している。震災後と同様の傾向が見受けられる。
▲	衣料品専門店(経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染はまだ拡大しており、生活必需品の価格は上昇し続けている。消費にとってマイナス要因が多い。
▲	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数の急増で、目に見えて人流は減っている。さらに、旅行などの自粛による影響で、目的買いによる洋服の売上などは全く回復していない。
▲	自動車備品販売店(役員)	お客様の様子	・他県と比べると降雪による経済活動への影響は少なかったが、新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数の急増やガソリン単価の高騰による外出自粛のため、車の使用が減少してメンテナンス需要も減っている。更に状況は悪化している。
▲	その他小売〔ショッピングセンター〕(統括)	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大から客の自粛傾向が強まり、来客数に影響している。また、気候が強い冬型となって降雪や低温の日が続いたことから、春物商材の販売動向も遅れてきている。
▲	一般レストラン(統括)	お客様の様子	・1月27日～3月6日までまん延防止等重点措置期間になっていることや、例年と比べて2月は雪の降る頻度が高く、平均気温が6度も低かったことから、客の動きが鈍い。新型コロナウイルスの対応に慣れたため、ランチタイムの落ち込みはほとんどないが、まん延防止等重点措置期間ということで、夜の外出や外食機会が激減している。飲食店では夜のみ休業にしている店舗が多く、北陸全体で夜間の人の動きが減少している。
▲	通信会社(役員)	販売量の動き	・放送、通信共に契約数が前年同月比で10%ほど減少している。
▲	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕(総支配人)	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株による県内の感染者数が急増しており、子供から高齢者まで会員に感染関係者が出ている。また、クラスターは発生していないが、複数のスタッフが休まなくてはならない状況になってきている。このような状況下で、利用控えや休会が多く発生している。
▲	美容室(経営者)	来客数の動き	・2月に入り新型コロナウイルスオミクロン株による感染が急拡大し、ここ1年では最も来客数が減少している。特に学校で子供の新規感染者数が増えており、その関連で親が仕事を休むこともかなりあるようで、それも来客数減少の一因となっている。

	▲	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で、客との打合せが延期や中断となり、契約予定が立たず販売が進まなくなっている。年配の客との交渉が多かったため、影響は大きい。
	×	商店街(代表者)	来客数の動き	・地方でも毎日多数の新規感染者が出ていて、街中の人出は激減している。特に高齢者の姿が消えている。正に危機的状況である。
	×	一般小売店〔鮮魚〕 (役員)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が延長されたため、回復の兆しが見えなくなっている。取引先の飲食店では昼だけ営業していたが、昼の営業もやめてしまっている。まん延防止等重点措置が解除されたとしても、どの程度回復するのか不安しかない。
	×	百貨店(売場主任)	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の急増と大雪の影響というダブルパンチで来客数が減少し、売上は前年1月以来の大幅マイナスの見通しである。近年右肩上がりでも推移していたバレンタイン商戦にもぎわいがなく、会場は閑散とした状況で前年割れしている。
	×	コンビニ(店舗管理)	来客数の動き	・コロナ禍と天候不順で来客数が大幅に減少している。
	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が非常に影響している。
	×	住関連専門店 (役員)	来客数の動き	・降雪などの季節要因や、新型コロナウイルス第6波による影響は否めないが、一方では家具の購入に対する考え方や市場性など、業界全体に関わる動きも影響している。
	×	高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・前月27日から今月20日までまん延防止等重点措置が適用されたが、3月6日まで延長となり、集客は前年の7割ほど、例年の3割まで落ち込んでいる。
	×	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの発生以来、一番悪いと考える。
	×	スナック(経営者)	来客数の動き	・経験したことのない最悪の状況で、来客数は前年同月の6割となっている。当店の客は年齢層が高く、孫などに新型コロナウイルスの感染が広がっている状態では外出できない。この状況が続くとお手上げである。
	×	観光型旅館(スタッフ)	来客数の動き	・前年との比較では売上は274%となっているが、新型コロナウイルス発生前との比較では70%と、まだ苦しい状況が続いている。
	×	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が延長されたため、宿泊部門、宴会部門、レストラン部門共に悪かった前年を更に下回っている。
	×	都市型ホテル (役員)	来客数の動き	・新規感染者数が過去最高を更新するなか、前月に続き稼働率は減少傾向にある。しかし、2月中旬以降は降雪による受験生の前泊利用者が増加し、稼働率の下降に歯止めを掛ける結果となっている。
	×	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で宿泊予約がほぼない。出張手配もほぼキャンセルとなっている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・連日、新型コロナウイルスの新規感染者が多数確認され、外出自粛により利用客が減少している。駅でも客を待つ時間が長く、夜の街は閑散としている。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・第6波による感染急拡大で、相変わらず人の動きが悪い。
	×	テーマパーク (役員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大によりまん延防止等重点措置が適用され、人の移動制限や時短営業などが要請される状況で、観光客数が大幅に減少し、3か月前と比べて状況が悪くなっている。
企業 動向 関連 (北陸)	◎	—	—	—
	○	通信業(営業)	受注量や販売量の動き	・年始当初より受注量が増加し、年度末を迎えても非常に活発に推移している。特に事務関連機器の設備投資が旺盛である。
	□	食料品製造業 (経営企画)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染の急拡大で高止まっている感じがあるが、その影響かテイクアウト需要向けの受注が相変わらず好調で、ここ数か月伸びし続けている。

	<input type="checkbox"/>	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・半導体不足や世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による輸送遅延、原材料の価格高騰等で、引き続き厳しい状況が続いている。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	それ以外	・建設業のため、公共事業の受注は前年と同様に推移しているが、繁華街の飲食店や旅行者、宿泊業者は相変わらず新型コロナウイルスの影響で痛めつけられている。
	<input type="checkbox"/>	司法書士	取引先の様子	・新築住宅の所有権保存登記の依頼は堅調であるが、材料費の高騰や器具類の不足による完成遅れなど不安な要素が続いている。
	<input type="checkbox"/>	税理士（所長）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症が終息しておらず、原材料価格の値上がりや半導体の調達ができないことで、電子部品関連の工場が操業を縮小している。以前と比べてもなかなか良い要素は見当たらず、状況は変わらないと考える。
	<input checked="" type="checkbox"/>	繊維工業（総括）	受注価格や販売価格の動き	・企業や用途によってばらつきがあるものの、受注は全体としては回復基調にあり、新型コロナウイルス発生前の水準に回復している企業もある。ただし、外国人技能実習生を中心とした人手不足や原材料価格の高騰による収益圧迫を課題に挙げる企業が増加している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（総務担当）	それ以外	・原油価格の高騰を始め、様々なもののコスト増加の影響を受けている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	精密機械器具製造業（役員）	取引先の様子	・国内の売上金額そのものは一定の水準にあるものの、例年であれば4月頃のピークに向け、各月において前月を上回る推移となる時期であるが、今年は新型コロナウイルスオミクロン株の影響で小売店舗の来客数に影響が出ており、特に2月は前月に比べてそれほど伸びていない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	輸送業（管理会計担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大のため、1月中旬以降は物量が減少している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・少し情報は出てきているが、今の状況ではまだ厳しいという話をよく聞く。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・ロシアのウクライナ侵攻による燃料価格の高騰を懸念している。
	<input type="checkbox"/>	金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先の様子では、新型コロナウイルスオミクロン株の影響が長引いているところに、原油価格の上昇が加わり、売上、利益共に減少が続いている。新規設備や人材採用に資金の振り分けができておらず、景気が上向きになる話が出てこない。
雇用 関連 (北陸)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—	—
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・若干ではあるが、パート、アルバイトなど臨時雇用の求人が増えている。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	求人数の動き	・ほとんどの産業で求人数は上向きとなっている。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数に余り変動がない。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人数が増えないのは、第6波による新規感染者数の急増で、新型コロナウイルスの終息がみえないことが大きい。それに加えて、原油や材料の価格高騰による先行き不安も悪材料である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスに積雪と悪い状況が重なり、上昇する気配がない。各企業は二の足を踏んでいるようである。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・宿泊業、飲食サービス業が元に戻らない。